

(案の1)

RSウイルスに注意しましょう！

(流行期タイトル：現在 RSウイルス が流行しています！)

RSウイルスは、冬期に流行する呼吸器感染症の代表的なウイルスで、子どもが感染すると、鼻水、咳、発熱などの症状がでます。多くは2日から1週間ほどで治癒します。

しかし、新生児がRSウイルスに感染すると、重症の急性細気管支炎を起こし、呼吸困難に陥る可能性があります。必ずしも発熱は伴いません。

赤ちゃんに対するRSウイルス・チェックリスト

- 赤ちゃんにお兄ちゃん・お姉ちゃんがいる
- 赤ちゃんのお兄ちゃん・お姉ちゃんが、ゴホゴホと咳をしていたり、鼻水がズルズル出ている
- 赤ちゃんが、急に元気がなくなり、お乳を飲まなくなった
- 昨日まで元気に泣いていた赤ちゃんが、じっと動かずに寝てばかりいる

上記の項目に3つ以上該当する場合は、RSウイルス感染症の可能性がります。

はやめに小児科医の診察を受けてください。

(案の2)

RSウイルスに注意しましょう！ (流行期タイトル：現在 RSウイルス が流行しています！)

○「RSウイルス」って何？

冬期に流行する呼吸器感染症の代表的なウイルスです。

身近にいるウイルスで、感染力は非常に強く、ほとんどの子どもは2才までに感染し、その後も何度もかかると言われています。

ウイルスに感染した人からの咳やくしゃみによる飛まつ、また、ウイルスがついている手や物をさわることによって感染します。

○子どもが感染するとどんな症状がでるの？

鼻水、咳、発熱などのかぜ症状がでます。

ほとんどの子どもは2日から1週間程度で治りますが、重症化することがあります。

特に新生児や出生体重が小さかった乳児が感染すると、気管支の一番奥の細いところに炎症が起こり、呼吸困難に陥る可能性があり、最悪の場合、命にかかわる危険な状態に陥るケースもあります。必ずしも発熱を伴うわけではない点に注意が必要です。

○感染予防のポイントは？

流水・石けんによる手洗いが効果的です。

また、流行時期には、かぜ症状がある人となるべく接触しない、マスクの着用などにより感染を防ぎましょう。

赤ちゃんに対するRSウイルス・チェックリスト

- 赤ちゃんにお兄ちゃん・お姉ちゃんがいる
- 赤ちゃんのお兄ちゃん・お姉ちゃんが、ゴホゴホと咳をしていたり、鼻水がズルズル出ている
- 赤ちゃんが、急に元気がなくなり、お乳を飲まなくなった
- 昨日まで元気に泣いていた赤ちゃんが、じっと動かずに寝てばかりいる

小さい赤ちゃんがいるご家庭は、特にRSウイルスに注意が必要です。

上記の項目に3つ以上該当する場合は、RSウイルス感染症の可能性が
あります。

はやめに小児科医の診察を受けてください。

徳島県では、RSウイルス感染症による乳児の死亡を減少させるため、県民の方々への普及啓発を推進しています。

H27. 〇月〈徳島県・徳島県周産期医療協議会〉